



大地申14号「駅業務体制の見直しについて」に関する申し入れ交渉開催 その1

4月5日大地申14号「駅業務執行体制の見直しについて」に関する申し入れ交渉が開催されました。大宮支社内では初めての「びゅうプラザ移管」であり、大きな変化点となります。労使で議論を深めることが重要であり、より良い施策として進めるために団体交渉を行ってきました。

1. 大宮駅びゅうプラザをVTSに移管する目的、根拠を明らかにすること。

会社回答：グループ一体となって旅行業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、将来にわたり持続的に観光流動を創造する体制を構築していく考えである。

《目的及び根拠》

目的：旅行業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応していくこと。また将来にわたり持続的に観光流動を想像していく。採用が厳しい中で当社の旅行業を担う社員をグループ一体となって採用していく。

根拠：今後、移管を進めていく中で旅行業の専門的な社員を育成していくことを考え、支社内で一番大きな大宮を選んだ。またVTSが収益事業として担っていくので安定的に運営していける箇所であればいけない。

《新販売拠点について》

・大宮は新販売拠点として、これまでの考え方と違いはない。

2. 施策実施のメリット及び、6月1日を実施日とする根拠を明らかにすること。また、施策の目的実現に向け、移管先での人材確保及び十分な教育を行った後の実施とすること。

会社回答：グループ一体となり、持続的に観光流動を創造する体制を構築することが出来ると考える。実施日については、移管先会社と調整して決定したところである。また社員の採用および教育は、移管先会社で実施していくこととなる。

《メリット及び施策の目的実現に向けて》

組合：働く人にとってのメリットはどのように考えているのか。

会社：教育目的で出向する中で移管後の店舗運営等、管理者の補助をするということでやりがいを感じてもらえると考えている。その後は経験を踏まえて、支社の観光開発の部分でリーダーシップをとって経験を発揮してもらいたい。

組合：VTSで運営体制が整ったということが移管できると判断する条件。プロパーが集まらないからJR本体からの出向者が業務を担うということは人材確保出来ているとはならない。この本部一本社の確認事項を前提として一致できるか。

会社：出向の考え方として、箇所のノウハウや年間行事等、知っている人が必要。一定数の出向はある。希望のマッチングはあるが丁寧に把握していく。従来の考え方とは変わらない。

組合：提案時に6月1日にしっかり準備できなければ修正提案もあることを確認した。移管先会社と調整中とのことだがどの程度集まっているか？

会社：6月1日を迎えられる準備はしている。提案の中で議論した事については認識している。

組合：修正提案もあることは確認できるか？

会社：そうならないように準備していく。提案時の確認に間違いはない。

【確認事項】

・出向の考え方は本部一本社の確認事項を前提として**従来の考え方と変わらない。**

・6月1日準備が整わなければ**修正提案を行う。**

1項・2項では施策の目的、根拠、メリットについて確認しました!

その2 へつづく